



霧島市国分海浜公園 花火大会

## 羅針

KAMADA  
TSUSHIN

第166号

鎌田建設株式会社

社長 鎌田善政

いつも社員の皆さんに「親に喜ばれる人間になろう」「感動を与える、感動がわかる人間になろう」と呼び掛けていますが、最近、次のようなことがありました。

七月十五日、十六日の二日間行われた霧島国分夏祭りの前に、私共鹿児島掃除に学ぶ会では、霧島商工会議所青年部の皆さんをはじめ、約百名の方々と夏祭りの行われる市街地一帯の道路の側溝の土砂上げ及び、沿道の清掃を徹底して行いました。夏祭り終了後も、霧島商工会議所の皆さんをはじめ、第二工業大学、第一幼児短期大学の生徒さん達約百五十名の他、有志の方々とゴミ拾いを行い、夜十二時頃にはもの見事に綺麗になりました。鹿児島市から夏祭りを見学に来ていたある方が、翌日の朝十時頃夏祭りのあった場所を通った際、あまりの綺麗さにびつくりして、「こういう街は他にないですよ」と話して下さいました。また、十月に下井海岸で行われた花火大会の時も、大会翌日の朝六時半から二百五十名のボランティアの方々が見守りながら、綺麗にするように綺麗になっていました。

霧島市の高田教育長をはじめ、先生方と「洗心教育」として学校のトイレ掃除をして五年目となりました。この取り組みを国分中央高校の先生方にお話をさせて頂いたところ、先生方がとても熱心に私の話を聞いて下さり、その姿勢に感動しました。卒業生の就職先の評判の良さを垣間見た気がしました。

市外からこられた方々が「霧島市は素晴らしい所だ」と方々に宣伝して下さる様に、さらに努力してまいらねばならないと思うことでした。霧島市が発展する為に皆で微力を尽くしてまいります。